



世界こどもサミット2018

サテライト in 兵庫



5月5日(土・祝)尼崎市立立花西小学校にて「世界こどもサミット2018」が開催されました。

「世界こどもサミット」とは、こどもの可能性は無限大!?そんな子ども達の才能を「認めて伸ばす」「最大限に発揮できる」よう、子ども達の想い、考え方、やりたいこと、夢、希望、創りたい未来の社会などを思ったまま自由に発表するイベントです。

本校から3年2組 橋本 有咲さんと2年1組 福崎 馨心さんが参加し見事なスピーチを披露してくれました。

スピーチ『なりたい大人 なりたくない大人』

生徒会本部 整美専門委員長 3年2組 橋本 有咲さん

私は、「誰からも信頼される人」になりたいです。では、誰からも信頼される人とはどのような人のことを指すのでしょうか。私は、大きく分けてふたつあると思います。ひとつ目は、誰とでも仲良くできる人です。誰とでも仲良くなれるということは、皆平等に接することができるということです。当たり前ようですが、年齢や性別の壁を越え、親交を深めようとする姿勢が素晴らしいことだと思います。また、人に好かれるというのは、ただ接するだけでなく、笑顔であるなど、親しい仲でも礼儀を決して忘れないような温和篤厚な心も必要です。これらのことを普段から心がけている人は、尊敬されるような人だと私は思います。ふたつ目は、「素直な人」です。例えば大人でも、自分のミスや失敗を認めようとしない人がいます。しかし、人は死ぬまで心は成長すると思います。自分のミスを認め、改善しようとしなければ変わることも、成長することもできません。つまり、素直に物事を受け止められないと相手にも迷惑をかけてしまったり、不快な思いにさせてしまったりします。素直に「ありがとう」と言えること、自分の欠点を直そうとする心。このような事をひとつでも意識するだけで、一步一步着実になりたい大人になれると思います。「なりたい大人」とは裏腹に「なりたくない大人」にも出会いました。それは、周りに迷惑をかける人です。迷惑をかけてしまう人の特徴は、大きく分けて3つあります。ひとつ目は、嘘をつく人です。私も昔から両親に嘘をついてはいけないと教わってきました。嘘をつく、最後には信用を失ってしまうからです。ふたつ目は、基本的にモラルやルールを守れない人です。電車やバスなどの公共の乗り物や公共施設でも迷惑行為をする大人を見かけることがあります。誰もが、生活・活動する場所だからこそ、気遣いが大切だと思います。気遣いができないのは相手の気持ちを考えられないことに直結します。相手に思いやりをもって接しないと、自分もいつか冷たい態度をとられてしまい、最終的には自分も損する事になってしまいます。そして、3つ目は努力をせず、すぐにあきらめてしまう意志薄弱な人です。一度やると決めたことは最後までしっかりとやり通した後に、得られるものは大きいと思います。例えば、ある仕事を任されたのにもかかわらず、途中であきらめてしまった場合、信用がなくなってしまう。人の信用は築きあげるのには時間がかかるものの、崩れてしまうのは一瞬です。だからこそ努力を重ねていき、必要とされるような人でありたいと思います。世の中には、それぞれ違った性格、性別、思考の人が生活しています。そして、子どもは様々な考え方や物事のとらえ方を周りの大人から多大な影響を受けて成長していきます。だからこそ私は、これから成長していく中で、子どもの手本になれるような人になりたいです。そのために、自分の理想の大人になるにはどうしたらいいのかをしっかりと考えて行動していきたいです。



スピーチ『なりたい大人 なりたくない大人』
生徒会本部 議長 2年1組 福崎 馨心さん

まず僕が、将来なりたくない、またはなっではいけないと考える大人像が3つ存在します。1つ目は、人の命や心を粗末にする人です。理由は、国で定められていることを平気で破り、この国に迷惑をかけてしまうからです。2つ目は、仕事をしない大人です。理由は、この世の中は、自分で稼がないと生きていけないからです。3つ目は、マナーを守らない大人です。理由は、他人に迷惑をかけているうえ社会人としてあり得ないからです。

反対に、僕が将来なりたい大人像が、3つ有ります。

1つ目は、何事にも努力できる人です。何事にも努力出来る人は、必ず将来目指していたことなど成功するからです。しかし僕には、まだまだ何事も努力する事が出来ていません。しかし、僕たちには時間が残されています。だから、これからそのような大人になれるよう、日々の生活をしっかりと大切にしていきたいです。

2つ目は、人のために尽力できる人です。例えば、警察や消防士、救急隊員の人達です。この人達は、自分の命より他人の命を優先し、自分の命を危険にさらしてまでも守ってくれているので、この人達が一番すごい感動しました。もちろんそれが仕事なのですが、みんなのを守るという強い意志でこの仕事をしてきているので、僕はこのような人に一番なりたいと思っています。

3つ目は、最後にこのふたつが出来た結果、誰からも信頼され、みんなのために行動を起こす人になりたいです。そのためには、ボランティア活動などに積極的に参加し、理想とする大人像に近づきたいです。

僕たち子どもは、両方の大人の背中を見て成長します。だから、大人は子どもに良い見本を見せる存在になってほしいです。また、僕たち子どもは、無限大の可能性と期待を背負っています。だから、自分たちの未来を自分たちが住みやすい社会にするため、良い大人に学んだことを活かしていきたい、なりたい大人以上の大人になれるよう、精一杯頑張っていきたいです。

